

日中友好協会
岡山支部

おかやま

題字 萩原田 親

No. 548

2008/8/5


日中友好協会
岡山支部

〒700-8255
岡山市東区3-8-30-513
TEL:086-272-3010
郵便振替口座
01250-0-3635
http://rizhong.jp/
index.html

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒112-0025 東京都千代田区
西葛西2-1-1 第九学舎513号

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



中国「残留日本人孤児」問題

資料と写真展

倉敷開催決定!

— 2004年2月20日の提訴から

2008年2月21日の終結まで—

とき: 8月11日(月) ~ 15日(金)

時間: 11日(月) 午前中準備

12:00 ~ 17:00

12日 ~ 14日(火 ~ 木)

9:00 ~ 17:00

15日(金) 9:00 ~ 12:00

午後片付け

ところ: 倉敷市役所1階ロビー

展示内容

- ・中国 残留日本人孤児」とは
- ・中国 残留日本人孤児」の歴史
- ・中国 残留日本人孤児」の実態
- ・孤児」訴訟支援の取り組み
- ・孤児」問題への理解を得るための諸取組み
- ・中国帰国者との交流会
- ・日本語教室のあゆみ
- ・新 自立支援法」成立と内容 など

中国残留孤児国賠訴訟終結「感謝の会」に出席して



— 新支援法を 絵にかいた餅にしてはいけない —

難波娃子

中国残留孤児問題
に関心があったのは、
実をいいますと私自身
がまかり間違えば同じ
境遇になっていたかも
しれない。中国東北
部、瀋陽からの引揚者
です。年齢的にも同世
代であることなど、当
日どなたかがいつてお
られました。テレビ
で親・兄弟姉妹、縁者
に呼び掛ける中国残
留孤児の人達の報道
を見るたびに涙が出て

仕方がありませんでした。
何か手助け出来ることはない
かと思っていました。小林先生
から日中友好協会のカレンダー
購入の依頼があり以後ささや
かではあります。購入の協力
をさせてもらっています。

前置きが長くなってしまいまし
たが、中国残留孤児岡山訴訟が
なされるまえから各地で起こさ
れた中国残留孤児の訴訟につい
ては関心があり、調べたりして

感謝の会」で表演

いろんなところで表演を!

日中太極拳部会 小川洋子

7月12・13日は、表
演2連続の土日とし
た。太極拳をやっ
てない方たちに見てもら
うことは、めったにない
ことです。両日で参
加するメンバーが少し
違っていました。どち
らの日も風華太極拳
は必ず表演する予定
でした。ですから、事
前の講習会では、ステ
ージに上がったとき
の、各々の立ち位置を

ましたが。はかばかしい結果は
出ず、苦々しく思っておりまし
た。
08・2・21の岡山訴訟取
下げ、訴訟終結を岡山地裁の傍聴
席で聞き、これでいいのか?
手放して喜んでいて良いのらう
かと考えました。

中国残留孤児岡山訴訟終結
感謝の会」での皆さんの喜びの
様子を見聞きしながら、これか
らは何をすれば良いのかを考え
ました。行政は何やかやと規制
をかけて、制限をするのではな
いか、この後もきちんと支援して
いかなければ絵に描いた餅にな
るのではないかと思つたのは私だ

りキメているところの写真も掲
載されたようです。すばらし
い! 13日の表演は、三丁目劇
場のステージでした。ほんとのほ
んまの「ステージ」で表演とい
うのは、少なくともわたしは初め
てでした。ステージの袖で和太
鼓の力強い演奏を聴きながら、
自分達の順番を待つ間は、とて
もわくわくしました。客席は
満員とはいきませんでした。が、
それでもたくさんの方がいらつし
やいました。わたしたちの表演
を見て、習ってみたいと言われ
た方もいらつしやるそうです。ま
たチャンスがあれば、いろいろな
ところで表演していきたいと思
っています。



長編ドキュメンタリー映画

「花の夢」 —ある中国残留婦人—

上映に「協力いただきありがとうございます」とございました。

7月5日(土)午前、午後3回の上映に約140人の方が鑑賞して下さいました。

現在、東京の都営アパートで静かに老後を送っている栗原貞子さんが語る人生から、あらためて戦争の惨めさを知りました。

特に、10代、20代の若い方が20人以上参加されました。映画を見てショックを受けたという感想などを聞いています。

これからの平和運動へ少なからぬ影響があるのではないかと思います。

残念ながら上映費用の方が上まわってしまい赤字になってしまいました。今後、見たかったけれども見られなかったという方のためにも、感想文集やパンフレットを提供させていただきたいと思っております。宜しく御願います。

感想文集の中の一つを紹介させていただきます。

あれはいつの頃だったか忘れてけれど、いきなり 父は誰でも生まれる時期と、場所は自分では選べないからな。とその人は呟いて苦笑されたことがあります。

この主人公の栗原貞子さんの生きた時代と私はほぼ一致した年代なので、当時の満蒙開拓団や、女子義勇隊(大陸の花嫁)などのニュースは、出征兵士を送るように名譽なことを宣伝され、その裏にどのような落とし穴が仕掛けられているかなど疑問を抱くことはおろか、日中戦争がアジア侵略に狂奔する一部軍国主義者の政策で

あったことなど明らかにされるには戦後一定の時間が必要でした。

当時の軍国主義教育が徹底して、少年航空兵や、開拓団への参加は、学校を通じて送り出されたことが多く、私の知っていた当時の教師は、侵略戦争と知らず、少年たちを送り出して申し訳ないことをしたと、辞職願を提出したが、今そんな事を言っている時ではなからうと受理されなかったと当時の若者たちに詫びるように話されました。

私がこの映画で感動したのは、栗原さんが、なんとしても生きようとソ連の兵舎収容所から脱走して行き着いた中国人の農家で働き、辛うじて命を繋ぎお腹の子供を守るためにこれしかないと思ひ受けられる結婚をし、十日後に出産、お乳が出ないので死なせるより誰かにあげてとあきらめる中で、実の親でもない彼が、毎日貰い乳して育ててくれ、その後日中国交が回復し帰国することを言い出せない貞子さんに、皆帰国しているが帰るのではないかと勧められた夫の長勝さんに貞子さんは長年の苦勞が報われた事でした。

今も地球上のあちこちで、戦火は絶えないけれど、一部の人々の欲望を実現するために、多くの人々のたつた一度の人生を不幸にすることは許されない。平和憲法が計り知れない代償の上に誕生したことを改めて実感させられた映画でした。

竹中君江



ドキュメンタリー映画

「花の夢」

写真アルバム

貴重な写真とシナリオなどを紹介してあります。

定価: 一〇〇〇円

日中岡山事務局まで。

赤字の補てんにいたします。ご協力よろしくお願いたします。

第四二回岡山県母親大会

一番の大元は平和であること

稲葉泰子

7月13日(日)梅雨が明けたと思われような炎天下の暑さの中、第42回岡山県母親大会が倉敷市の倉敷ライフパークで行われました。昨年は10月に岡山市で開催しました。それから1年にならないうちに倉敷で開かれたにもかかわらず、昨年より100人も多い550人の参加者でした。

午前中はのびのび子育て、豊かな成長を願って「など11の分科会と 亀島山地下工場跡」など2つの見学分科会が行われました。

私は黙っている平和は守れない。今私にできるピースアクションの「担当」として参加しました。岡山県平和委員会中尾元重さん、岡山県9条の会石井淳平さんの助言者・パネリストのもとで、岡山・津山・新見・赤磐・倉敷など地域の草の根運動や戦争体験など活

発な報告が行われました。新アロ

お腹いっぱい太極拳のピアガーデン

茹だる様な暑さの中、今年も恒例の大極拳講習会ピアガーデンを7月23日(水)に三光荘で開催しました。

知人や家族の参加も大歓迎で、



22人の参加がありました。三光荘は、太極拳講習会と同じ水曜日、女性サービスティで500円引きなので、女性が多い我々にはもってこいの場所です。

今年是我が家にホームステイ中の韓国人留学生の文(ミン)さんも参加して、交流しました。彼女は好奇心旺盛でメニューを見ていきなり日本酒を注文したところ、ジョッキにたつぷりの日本酒が現れて、日本人の我々もびつくりしました。

2010年には、国民投票法が実施できる年、NPT(核不拡散条約)再検討会議の年になります。行動すれば展望が開けることに確信を持つて進みましょう、と勇気づけられました。

午後からの全体会では、ホールいづばいの参加者の中で、岡大準教授の白井浩子先生の講演でした。

「ここまできている地球の危機」—食の安全と環境問題を考える—、というテーマでの話しでした。人間は地球の持つている自然の営みの中でしか生きられない、現在、どのように地球の持つている自然資本を減耗させているのか、エコロジカルフットプリント」という考え方で科学的に知ることができるとい

う話でした。母親大会大好きという先生の講演は力を込めて熱っぽく話してください、90分があつという間に過ぎました。農業の改革や地球温暖化を止める一番の大元は平和であること、憲法を守りましょう、と母親大会らしいまとめで会場は沸きました。

岡田指導員の大学生の娘さんも参加してくれました。彼女は中国語を専攻しているということので、今後日中友好の輪が広がります。

青木正指導員が、即興で小さな小さなキーホルダーのハーモニカの演奏をし、それを真似る青木由さんのお孫さん達の可愛い演奏(?)もありました。

次々出てくる食へ放題の御馳走やビールを何度も取りに行き、立ったり座ったり、立ったり座ったりで、意外と足腰の鍛錬になったかも?みんなお腹いっぱい食べました。最後は、暑い夏を乗り切ろう!と、一本締めで締めくくりました。

青木正美

次回の新聞送付作業は

8月11日(月)午後1時半

民主会館2階へ行きます。

前回お手伝いくださった方

由和 木内 榎
青小 竹内 竹